

6月10日 水曜日

2015年(平成27年)

夕刊

室蘭民報

MUROMIN

マレーシア文化紹介

海星学院高校の生徒たちに母国を紹介する室工大のマレーシア人留学生たち



室工大留学生が海星学院高訪問

国際交流、お菓子作りも

室蘭工業大学のマレーシア人留学生が9日、室蘭・海星学院高校(香川謙二校長、236人)を訪れ、母国の紹介やお菓子作りを通じて国際交流を深めた。

モハンマド・カイリさんら3人が来校し、同高校のインターナショナルクラブの生徒ら31人を前に講話。マレーシアは多民族国家で、主にマレー系、中国系、インド系の民族が暮らしており、宗教や言語、風習も異なることなどが紹介された。

イスラム教徒のカイリさんは「豚肉は食べず、酒は飲まない。一日5回お祈りし、年に1度断食を行う」などと伝え、生徒たちは時折うなずきながら、異文化に興味を抱いていた。カイリさんは「国際理解でより平和な世界をつくりましょう」と呼び掛けた。

生徒たちは「女性がかぶっているスカーフはいつ外すのか」「人気の歌手はいるか」などと積極的に質問し、留学生たちは「男性の前ではスカーフを外しません」「風など日本のアイドル、アニメや漫画が人気です」などと答えていた。

この後は、日本の大福やマレーシアの餅のお菓子作りを行い、和気あいあいと交流を深めていた。

(成田真梨子)